

# 第12回インフォメーション・ミーティング

平成18年度決算概要と平成19年度業績予想  
中期経営計画 Evolution2010 の概要

平成19年6月19日(火)  
株式会社 山梨中央銀行

# 目 次

## 平成18年度決算概要と平成19年度業績予想

平成18年度決算概況	5
貸出金の状況	6
預金の状況	7
有価証券の状況	8
金利感応資産の状況	9
利回り・利鞘(国内)の状況	10
役務収益の状況	11
経費とOHR	12
自己資本比率の状況	13
金融再生法開示債権・与信コストの状況	14
新・第8次長期経営計画の実績	15
平成19年度業績予想	16

## 県内経済の動向と当行の位置付け

山梨県の経済	景気動向・県内総生産	18
山梨県の経済	産業構造	19
山梨県の経済	主要プロジェクト	20
県内預貸金シェア		21

## 中期経営計画 Evolution2010

中期経営計画戦略体系	23
Evolution2010 の定量目標	24
コア業務純益目標達成のシナリオ	25
個人ソリューション戦略の概要	26
投信・個人年金保険への取り組み	27
個人向け貸出金への取り組み	28
法人ソリューション戦略の概要	29
事業先向け貸出金への取り組み	30
経営支援(創業・成長・再生)への取り組み	31
地域ソリューション戦略の概要	32
地域経済活性化への取り組み	33
地域経済活性化への取り組み事例	34
西東京ブロック戦略の概要	35
東京地区における店舗展開	36
西東京ブロックの業績推移	37

## 会社概要(2007年3月末現在)

- ・ 創業 1877年(明治10年)4月
- ・ 設立 1941年(昭和16年)12月
- ・ 本店所在地 甲府市丸の内1丁目20番8号
- ・ 資本金 154億円
- ・ 従業員数 1,612人
- ・ 営業店舗数 本支店・出張所91  
(山梨県内78、東京都内13)  
海外駐在員事務所1(香港)



本店

## < 経営理念 >

### 「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼される健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

# 平成18年度決算概要と 平成19年度業績予想

# 平成18年度決算概要

(単位:百万円)

	19/3期	18/3期	比較
<b>業務粗利益</b>	43,144	40,822	2,322
<b>資金利益</b>	37,852	37,034	818
<b>役務取引等利益</b>	5,588	5,124	464
<b>その他業務利益</b>	295	1,337	1,042
(国債等債券5勘定戻)	468	1,527	1,059
<b>経費</b>	25,900	26,506	606
<b>一般貸倒引当金繰入額</b>	213	957	744
<b>業務純益</b>	17,029	13,358	3,671
<b>コア業務純益</b>	17,712	15,843	1,869
<b>臨時損益</b>	369	3,257	3,626
<b>うち不良債権処理額</b>	2,784	1,154	1,630
<b>うち株式等関係損益</b>	2,207	4,474	2,267
<b>経常利益</b>	16,659	16,615	44
<b>特別損益</b>	673	999	326
<b>うち減損損失</b>	38	846	808
<b>うち役員退職慰労引当金繰入額</b>	531	-	531
<b>税引前当期純利益</b>	15,986	15,615	371
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	4,797	2,459	2,338
<b>法人税等調整額</b>	3,469	5,912	2,443
<b>当期純利益</b>	7,718	7,244	474

**資金利益**

<百万円>	19/3期	前年比
資金運用収益	43,422	1,373
貸出金	28,607	1,860
有価証券	12,219	112
その他	2,595	599
資金調達費用	5,570	555
合計	37,852	818

**役務取引等利益**

<百万円>	19/3期	前年比
役務取引等収益	7,801	645
投資信託	1,290	564
生損保	450	28
その他	6,060	51
役務取引等費用	2,213	182
合計	5,588	464

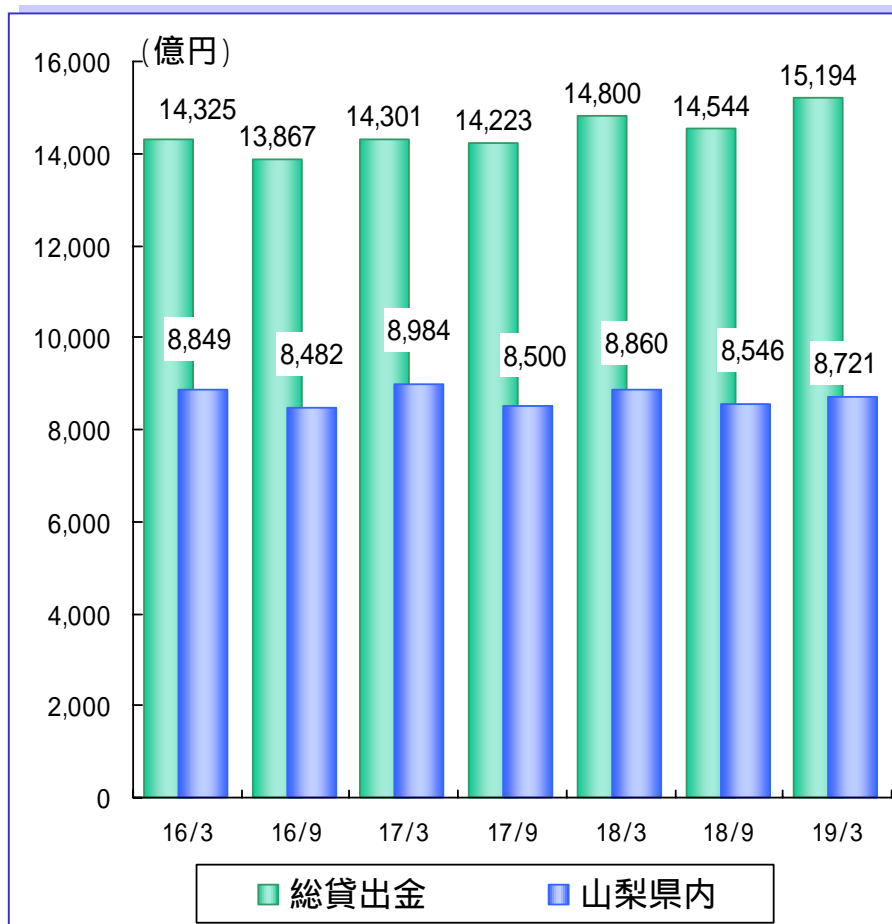
**与信コスト**

<百万円>	19/3期	前年比
一般貸引繰入額	213	744
不良債権処理額	2,784	1,630
個別貸引繰入額	2,083	1,154
貸出金償却	4	132
債権売却損	696	608
合計	2,998	887

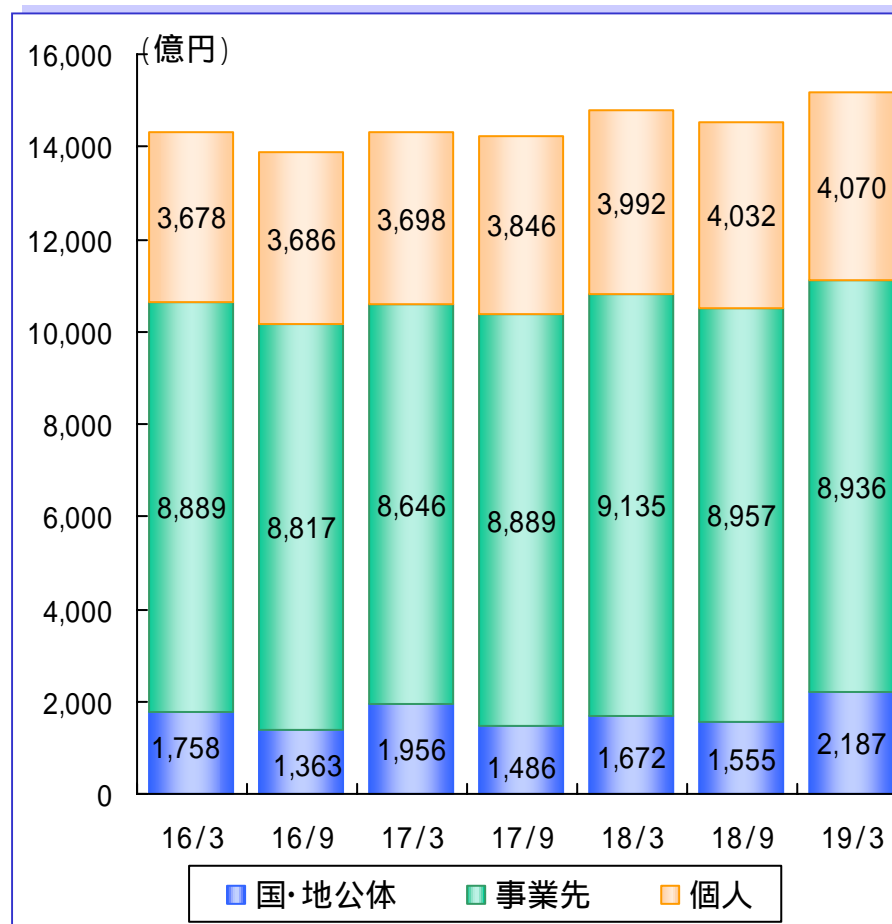
# 貸出金の状況

- 総貸出金残高は前年同期比393億円の増加、山梨県内貸出金は同138億円の減少
- 個人は前年同期比78億円の増加、事業先は199億円減少、国・地公体は515億円増加

## 貸出金残高推移 (全体・山梨県内)



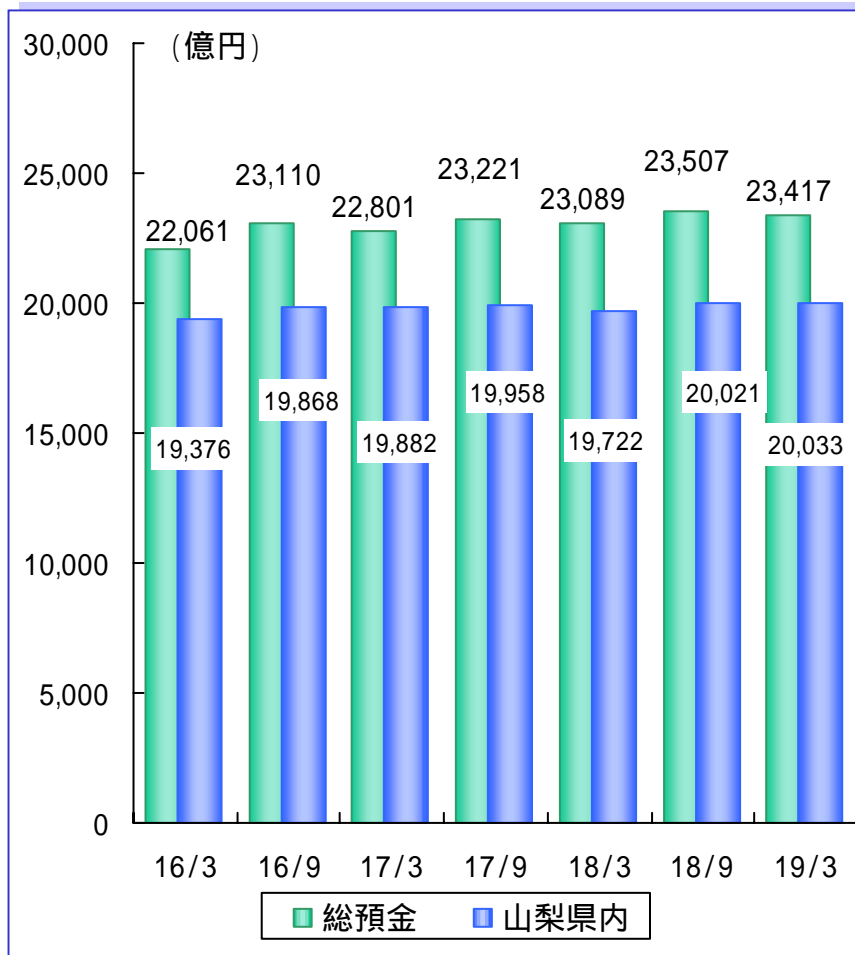
## マーケット別残高推移



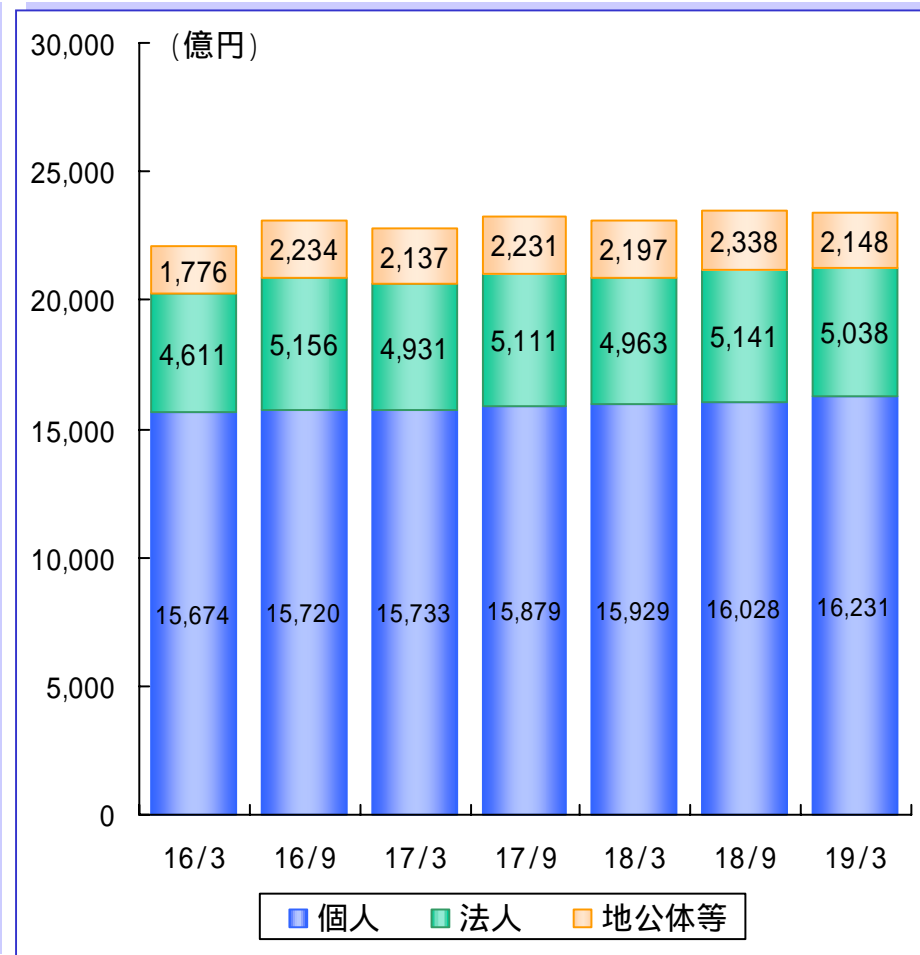
# 預金の状況

- 総預金残高は前年同期比328億円の増加、山梨県内預金は同310億円の増加
- 個人預金は前年同期比301億円増加、法人預金は同75億円増加、地公体等預金は同49億円減少

## 預金残高推移 (全体・山梨県内)



## マーケット別残高推移



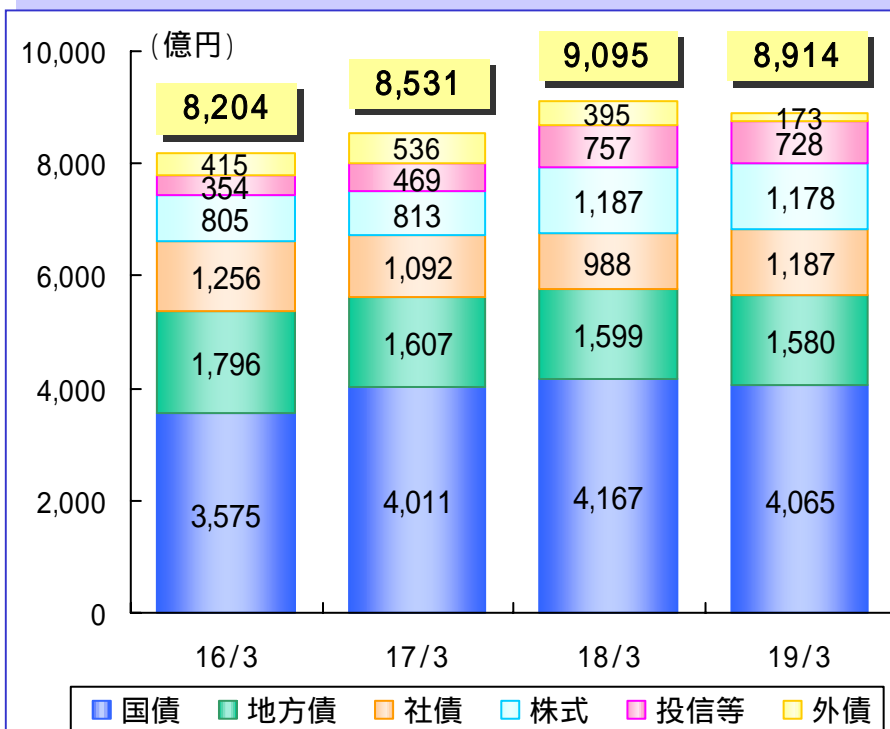
# 有価証券の状況

■ 有価証券残高	8,914億円(前年同期比 180億円)
■ 評価損益	805億円( " +71億円)
■ デュレーション	円債 3.1

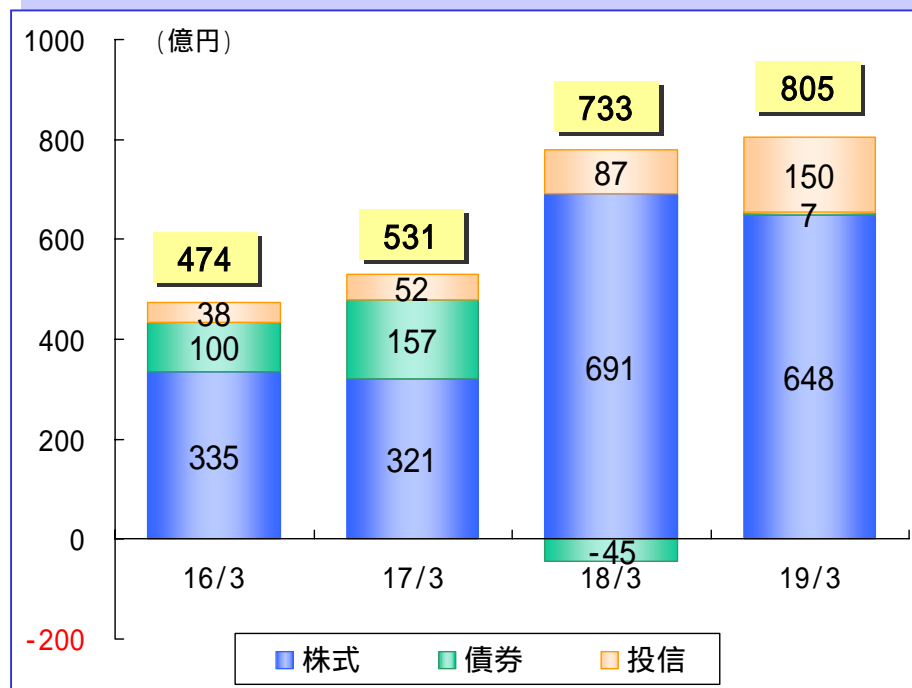


ポートフォリオの健全性を維持

## 有価証券残高(時価評価後)の推移



## 評価損益の推移



## 債券デュレーションの推移

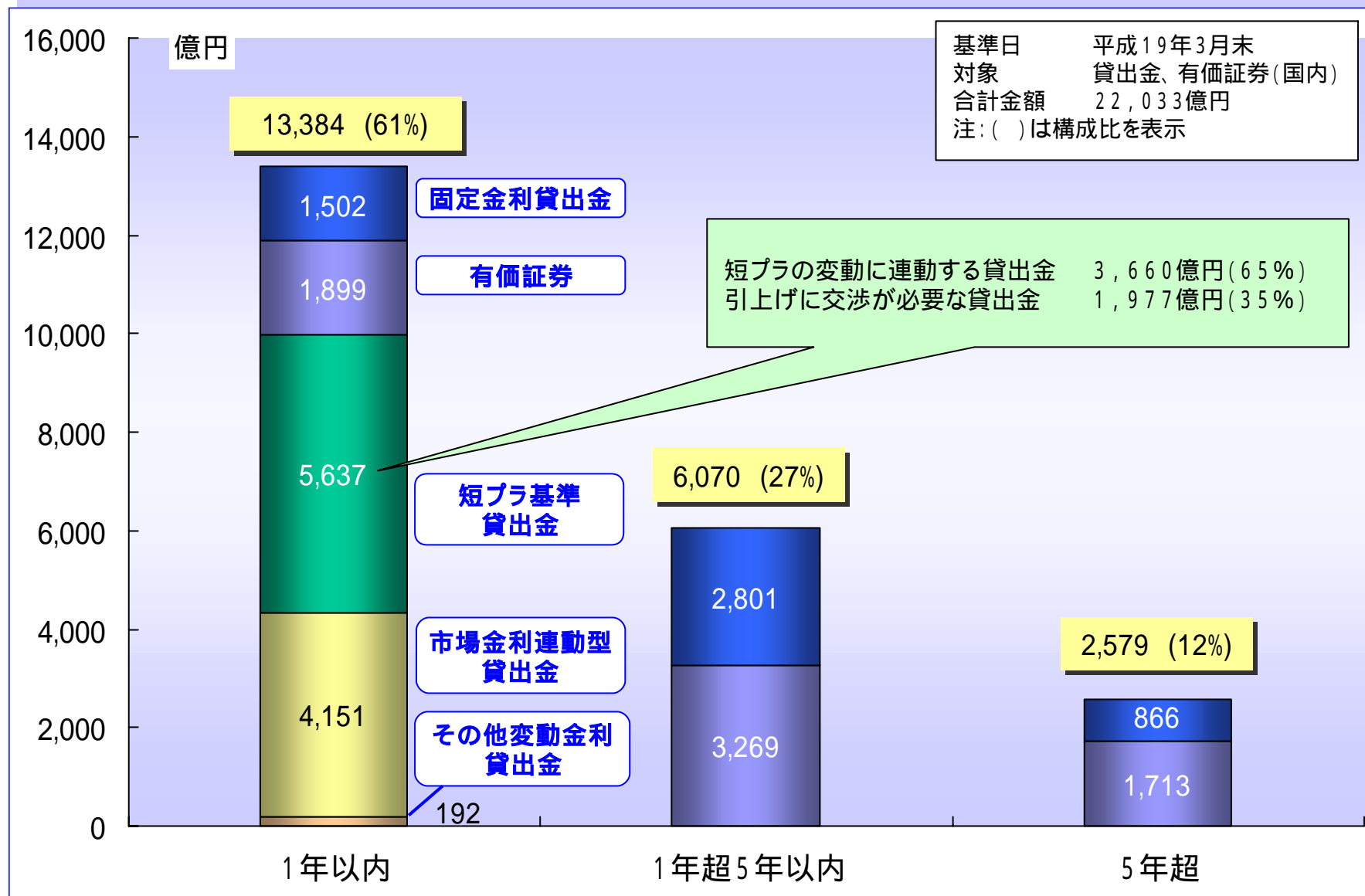
	16/3	17/3	18/3	19/3
円建債券	3.3	3.1	3.1	3.1

### 【マーケットリスクへの対応】

オルタナティブ投資への取り組み(国内債券・株式との非相関)  
 投資信託等残高 728億円(有価証券に占める比率8.17%)  
 同 評価損益 150億円(前年同期比+62億円)  
 変動15年国債残高 675億円



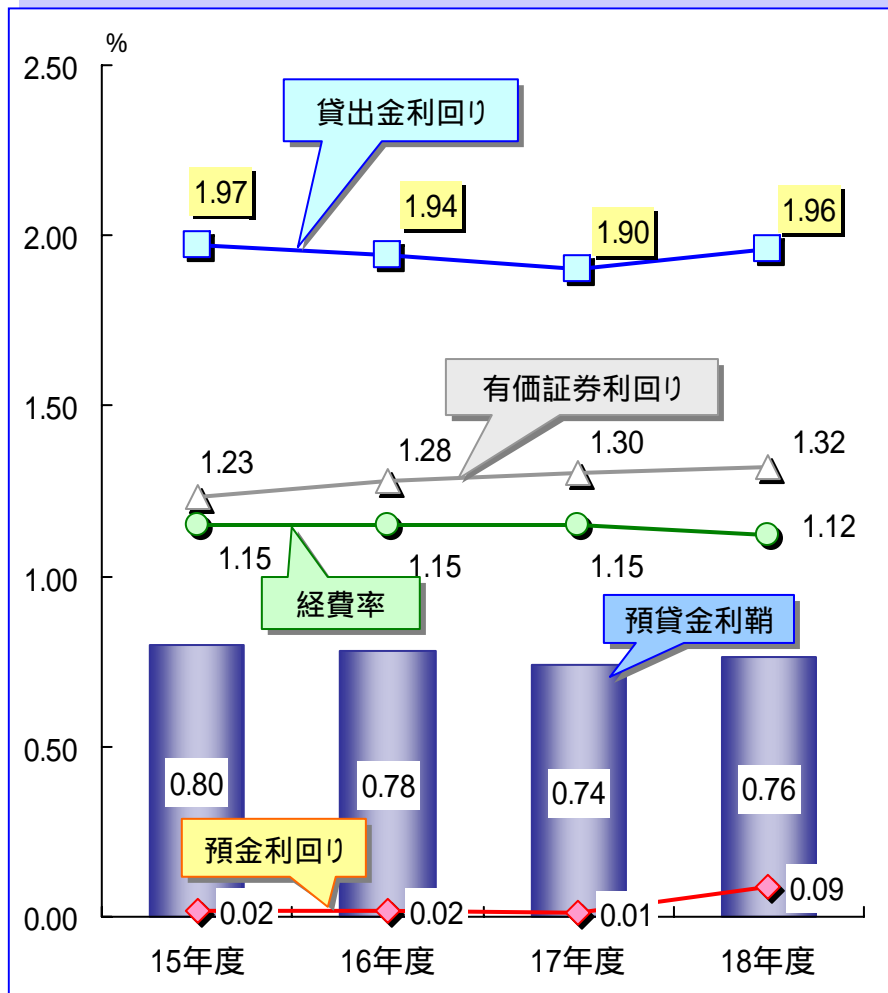
# 金利感応資産の状況



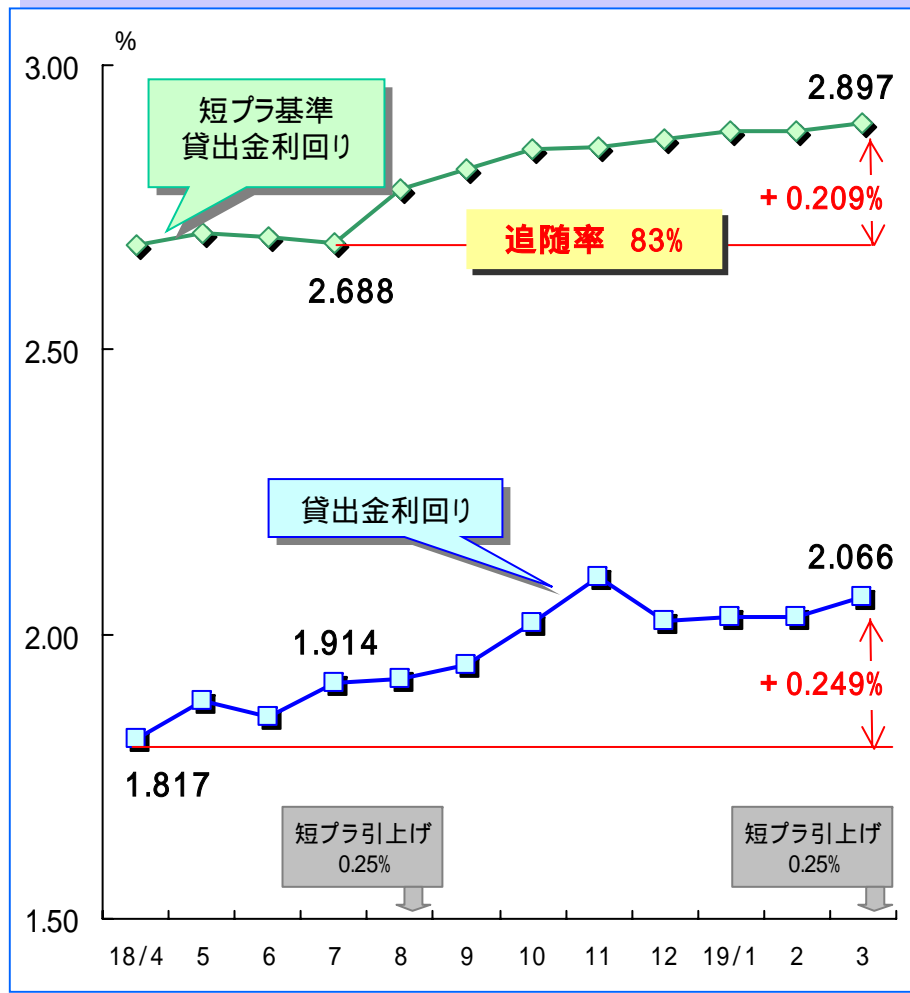
# 利回り・利鞘(国内)の状況

■ 預金利回り上昇するも、貸出金利回りの上昇、経費率の低下から預貸金利鞘はやや拡大

## 利回り・利鞘(国内)の推移(年度)

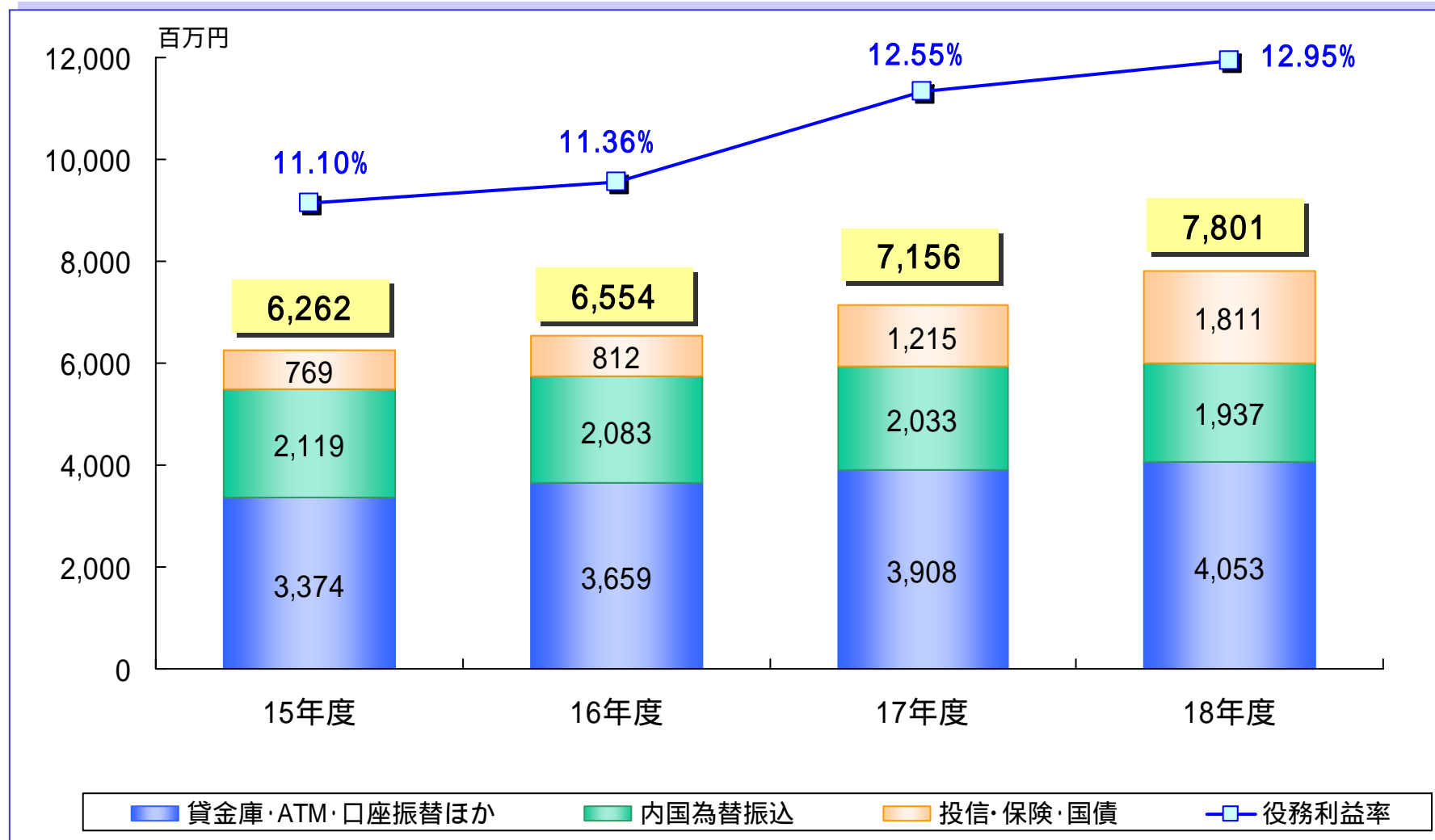


## 貸出金利回り(国内)の推移(月次)



# 役務収益の状況

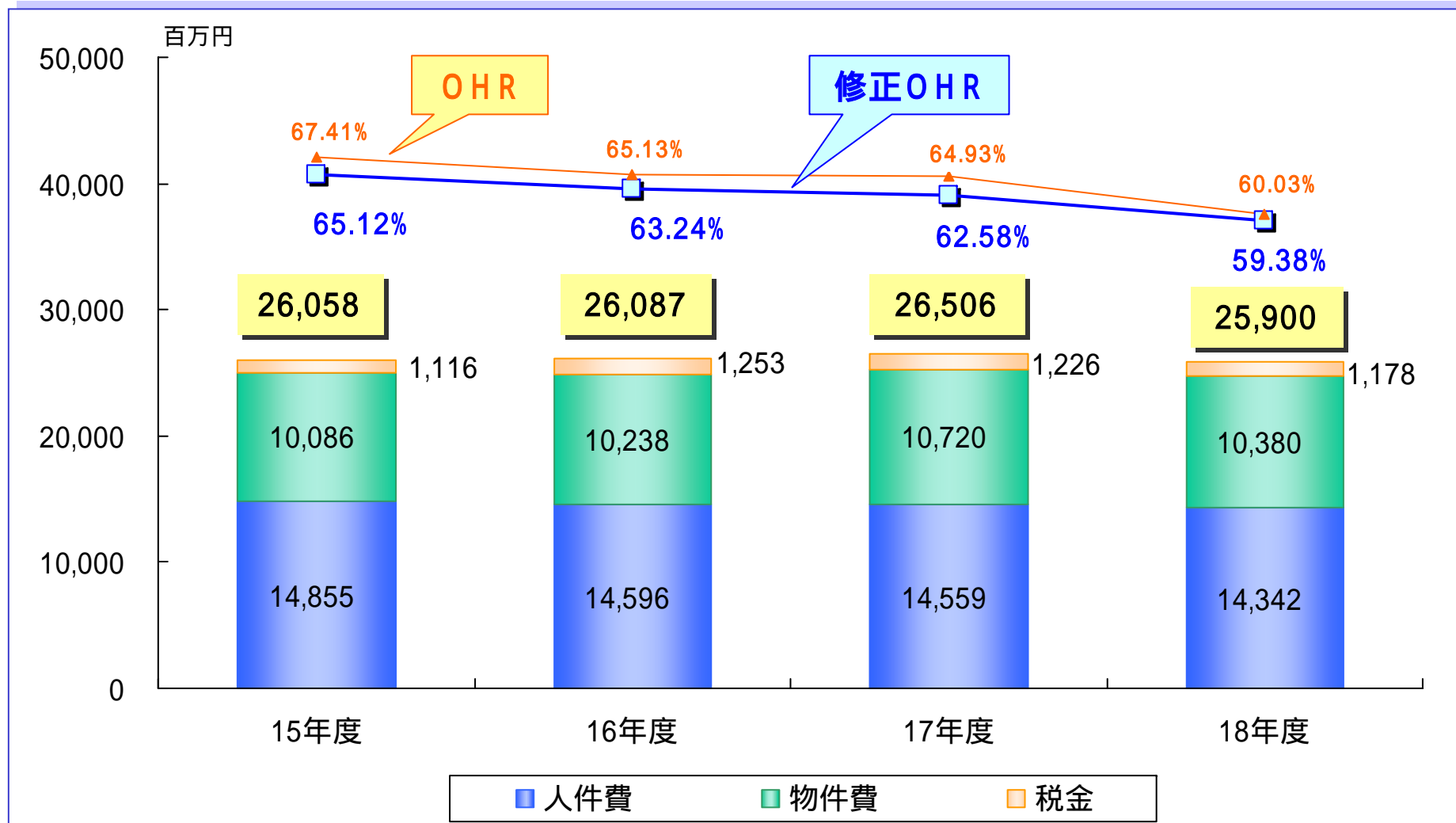
- 新・第8次長計目標72億円を超過達成
- 投資信託の販売が好調を継続しており、役務収益は堅調に推移
- 役務利益率も上昇基調で推移



役務利益率 = 役務利益 ÷ 業務粗利益

# 経費とOHR

- 18年度は人件費・物件費ともに前年比減少
- 粗利の増加、人件費・物件費の減少により、OHR・修正OHR共に改善

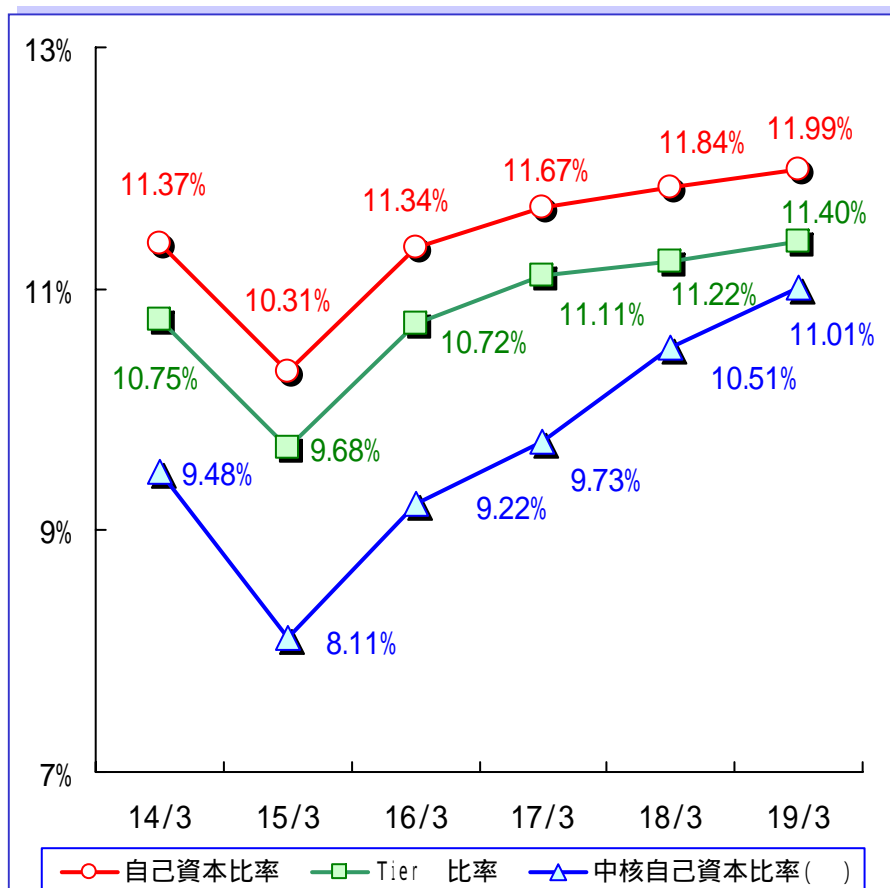


修正OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益  
 コア業務粗利益 = 業務粗利益 - 債券5勘定戻

# 自己資本比率の状況

■ 高水準の自己資本比率を維持

## 自己資本比率の推移



中核自己資本比率 = 税効果相当額を控除した自己資本比率

## 自己資本額の内訳

単位:百万円

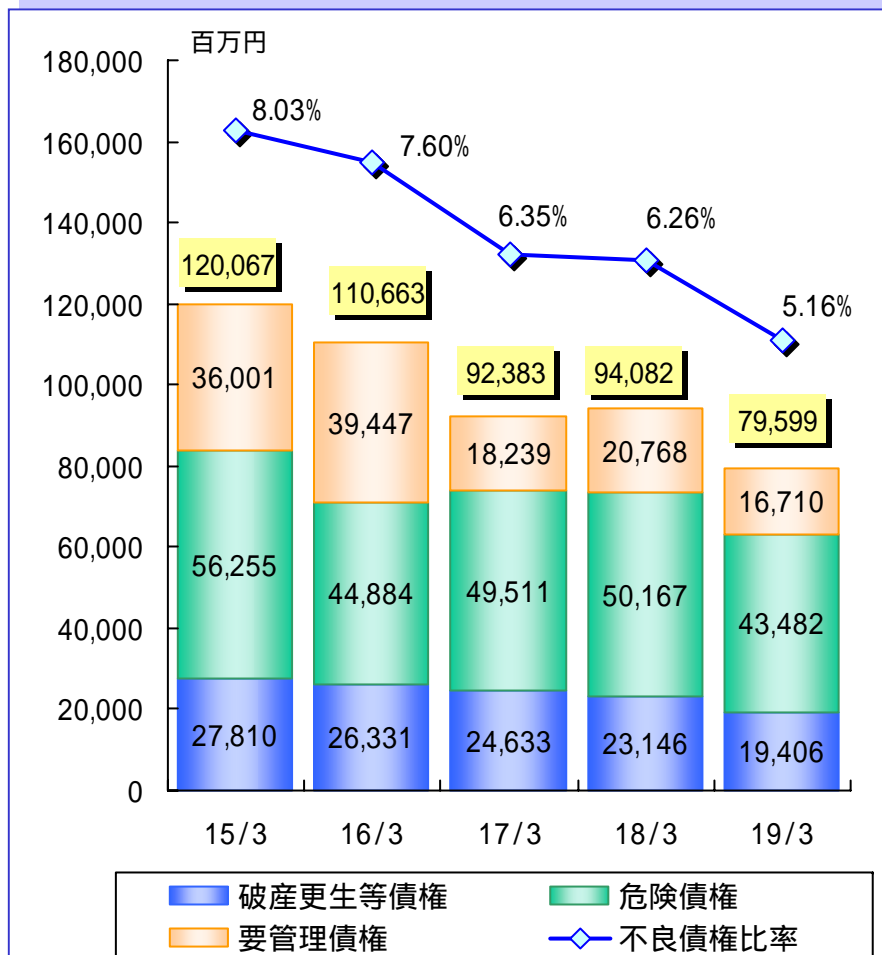
	19 / 3
Tier (基本的項目) (A)	132,161
うち税効果相当額	11,387
税効果相当額が Tier に占める割合	8.61%
Tier (補完的項目) (B)	7,176
うち一般貸倒引当金	7,176
控除項目 (C)	331
自己資本額(A) + (B) - (C)	139,006
リスクアセット	1,159,065
自己資本比率	11.99%

19/3期より新BIS基準

# 金融再生法開示債権・与信コストの状況

- 企業再生支援、最終処理促進等により、不良債権比率は低下
- 担保等による保全率は約88%を確保

## 金融再生法開示債権額・比率の推移



## 与信コスト・与信費用比率の推移



与信費用比率 = 与信コスト ÷ 貸出金平残  
 与信コスト = 一般貸倒引当金繰入 + 個別貸倒引当金繰入 + 貸出金償却 + 債権売却損 + その他

# 新・第8次長期経営計画の実績

■ 新・第8次長計における最大の目標であるコア業務純益は目標を上回る177億円を計上  
 ■ ROE、OHRは目標まであと一息ながら、一定の成果

定量目標	16 / 3期	17 / 3期	18 / 3期	19 / 3期	19 / 3期目標
コア業務純益	139億円	151億円	158億円	177億円	160億円突破
ROA	0.57%	0.61%	0.63%	0.70%	0.65%以上
ROE	5.72%	5.00%	5.54%	5.72%	6%以上
OHR	67.41%	65.13%	64.93%	60.03%	50%台
不良債権比率	7.60%	6.35%	6.26%	5.16%	5%台
自己資本比率 (国内基準)	11.34%	11.67%	11.84%	11.99%	10.50%以上
職員数	1,794人	1,712人	1,640人	1,569人	1,650人以下

$$ROA = \frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産期中平均残高}} \quad ROE = \frac{\text{当期純利益}}{\text{純資産期中平均残高}} \quad OHR = \frac{\text{経費}}{\text{業務粗利益}}$$

# 平成19年度業績予想

(単位:億円)

	20/3期(予想)	19/3期	差異
<b>業務粗利益</b>	436	431	5
<b>資金利益</b>	379	378	1
<b>役務取引等利益</b>	54	55	1
<b>その他業務利益</b>	2	2	4
(国債等債券5勘定戻)	-	4	4
<b>経費</b>	264	259	5
<b>一般貸倒引当金繰入額</b>	6	2	4
<b>コア業務純益</b>	173	177	4
<b>臨時損益</b>	23	3	20
<b>うち不良債権処理額</b>	40	27	13
<b>うち株式3勘定戻</b>	15	22	7
<b>経常利益</b>	143	166	23
<b>当期純利益</b>	72	77	5

## 資金利益

< 億円 >	20 / 3期	
		前年比
資金運用収益	463	29
貸出金	318	32
有価証券	118	3
その他	26	0
資金調達費用	84	28
合計	379	1

## 役務取引等利益

< 億円 >	20 / 3期	
		前年比
役務取引等収益	78	0
投資信託	12	1
生損保	4	0
その他	60	1
役務取引等費用	23	0
合計	54	1

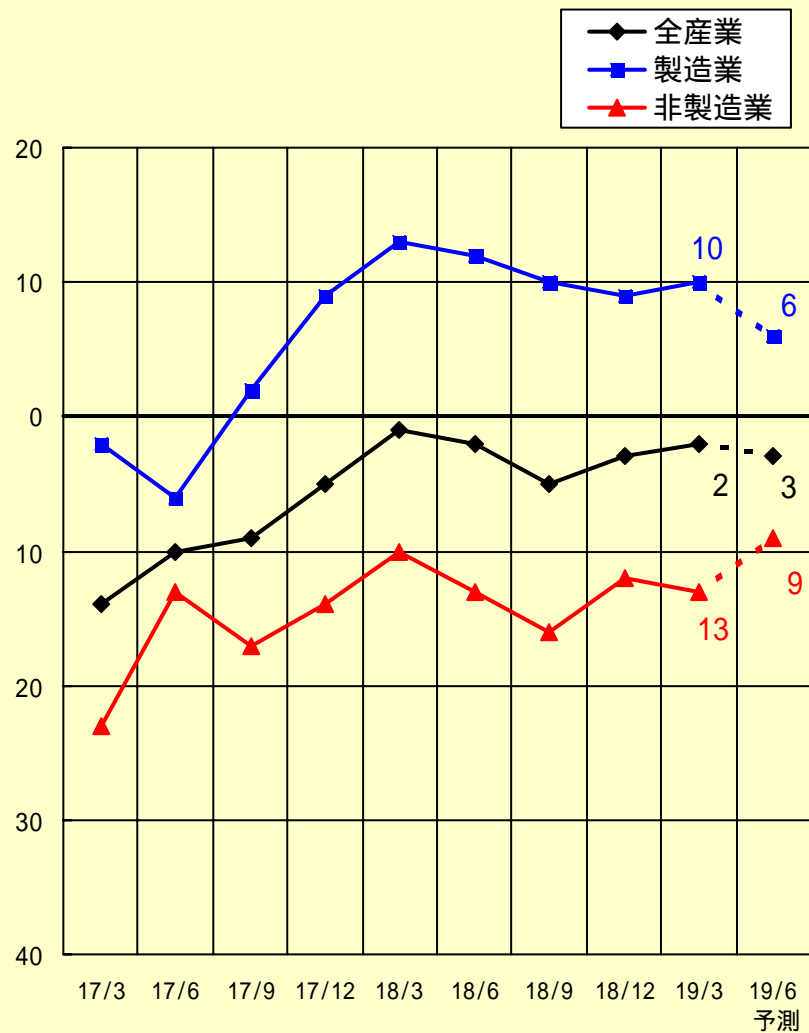
## 経費

< 億円 >	20 / 3期	
		前年比
人件費	143	0
物件費	108	4
税金	12	0
合計	264	5

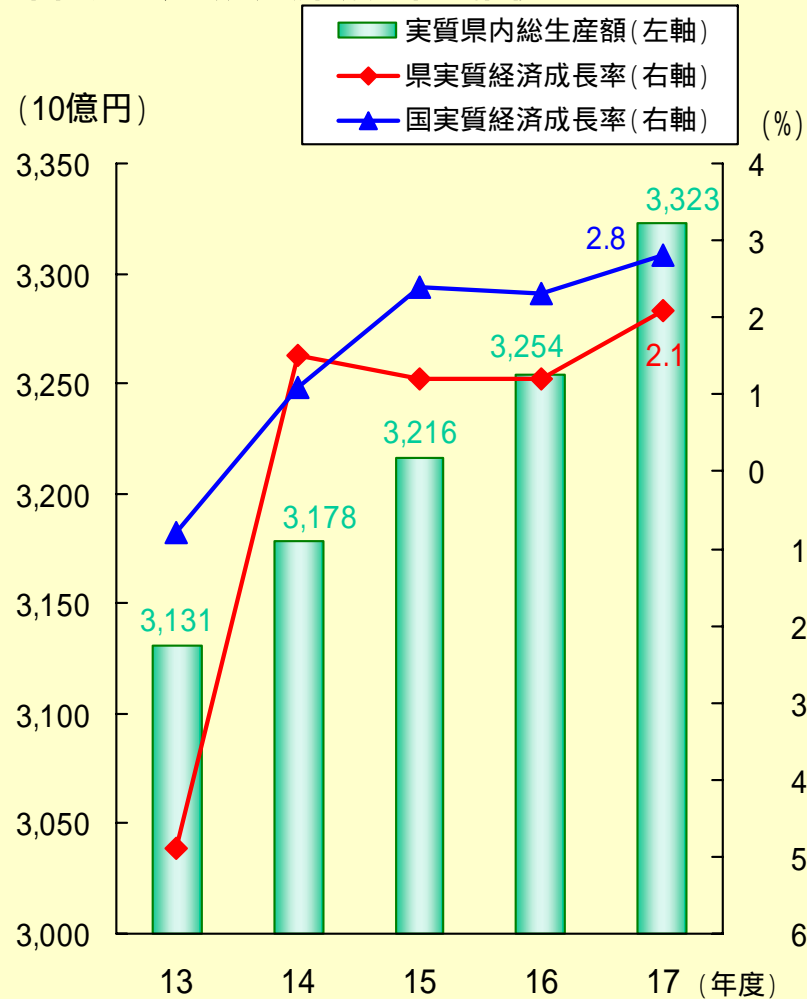


# 県内経済の動向と当行の位置付け

日銀短観業況判断D.I(県内)



県内総生産額・経済成長率の推移



# 山梨県の経済 産業構造

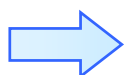
## 山梨県の製造品出荷額の推移

山梨県の工業構造は、昭和57年の中央自動車道全線開通と相前後して機械金属工業の集積が急速に拡大し、現在では出荷額の約7割を占める。

リーディング産業が「軽工業」から「ハイテク産業」へと交替することで経済規模は順調に拡大。

### 実質県内総生産の推移

昭和57年度 1兆7,872億円



平成17年度 3兆3,230億円(85.9%増)  
(速報値)

### 製造品出荷額等の推移

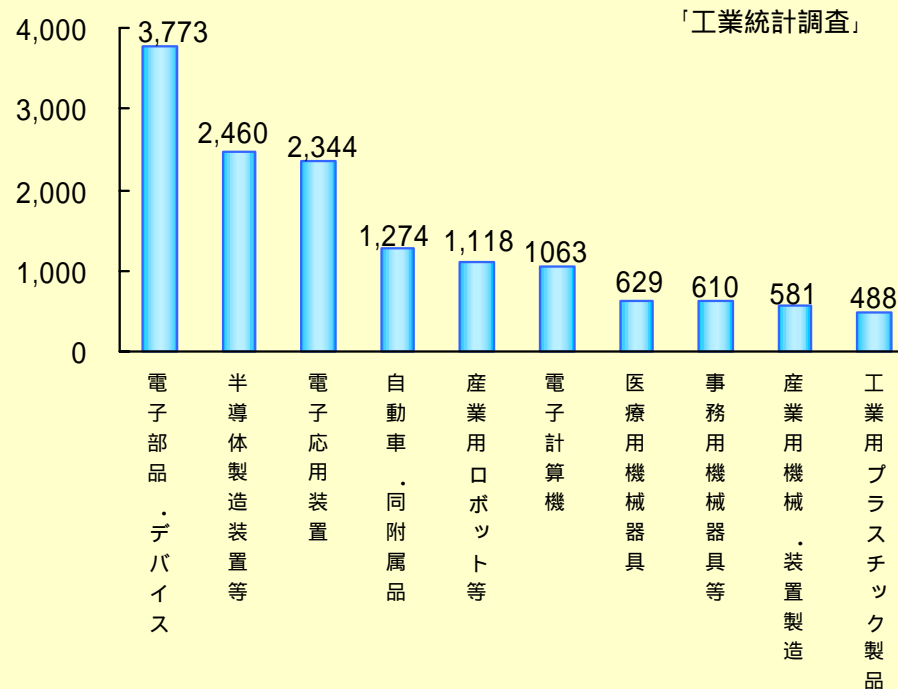
昭和57年 1兆833億円



平成17年 2兆4,468億円(125.8%増)

製造品出荷額等上位10品目(小分類・平成17年)

(単位:億円)



## 山梨県のリーディング産業の変遷

	製造品出荷額 全国順位	リーディング産業
昭和25年	40位	繊維
昭和45年	40位	繊維
平成2年	33位	電気機械
平成17年	32位	一般機械

全国上位の生産品目(細分類・平成16年) 「経済産業省 平成16年工業統計表 品目編」

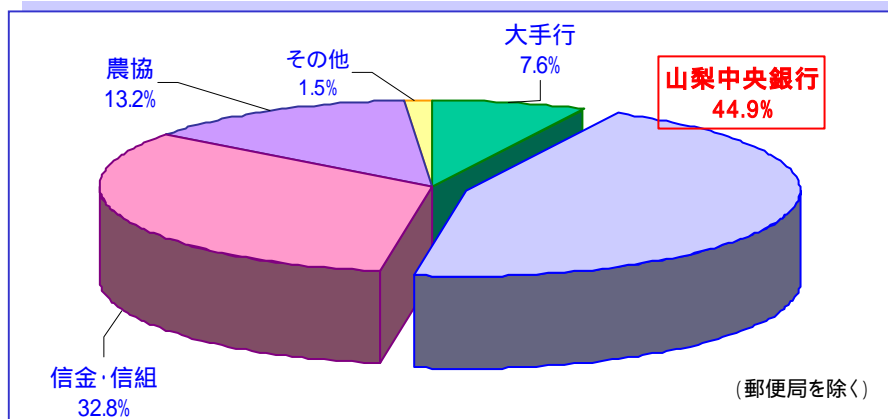
品目	出荷額	全国シェア	順位
果実酒	153億円	28.5%	1位
貴金属製品	415億円	28.6%	1位
ミネラルウォーター	140億円	23.6%	1位
ウェーブプロセス(電子回路形成)用処理装置	917億円	13.6%	2位
その他の産業用ロボット	498億円	12.5%	2位
フラットパネル・ディスプレイ製造装置	300億円	9.7%	2位
半導体製造装置部品	260億円	5.9%	3位
発光ダイオード	166億円	8.9%	4位



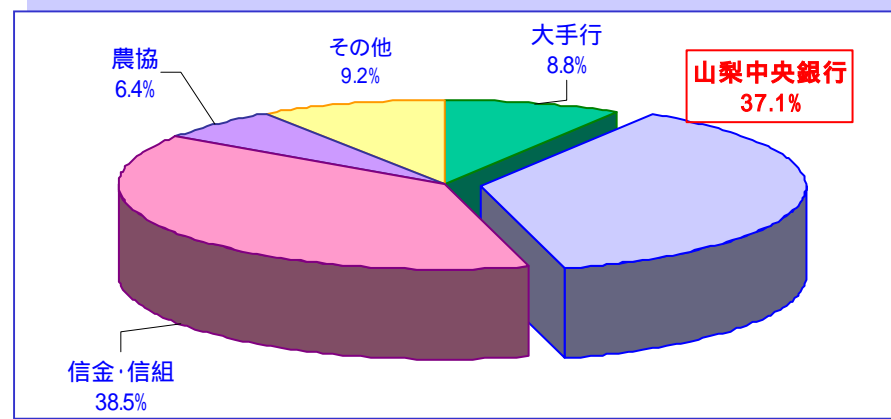
# 県内預貸金シェア

- 県内預金シェアは44.9%で前年比0.5ポイント上昇
- 県内貸出金シェアは安定的に推移

## 県内預金シェア(19/3)



## 県内貸出金シェア(19/3)



## 県内預貸金シェア推移(郵便局を除く)

		当行	大手行	信金・信組	農協	その他
預金 シェア	16/3	43.3%	7.6%	34.8%	12.7%	1.6%
	17/3	44.3%	7.5%	33.8%	12.8%	1.6%
	18/3	44.4%	7.7%	33.4%	13.0%	1.5%
	19/3	44.9%	7.6%	32.8%	13.2%	1.5%
貸出金 シェア	16/3	36.2%	8.0%	40.7%	6.1%	9.0%
	17/3	37.1%	8.3%	39.1%	6.2%	9.3%
	18/3	37.2%	8.9%	39.0%	5.8%	9.1%
	19/3	37.1%	8.8%	38.5%	6.4%	9.2%

## 指定金融機関の受託状況(19/3)

	県	市	町村	合計
県内の自治体数	1	13	15	29
当行が指定金融機関を受託している自治体数	1	13	11	25

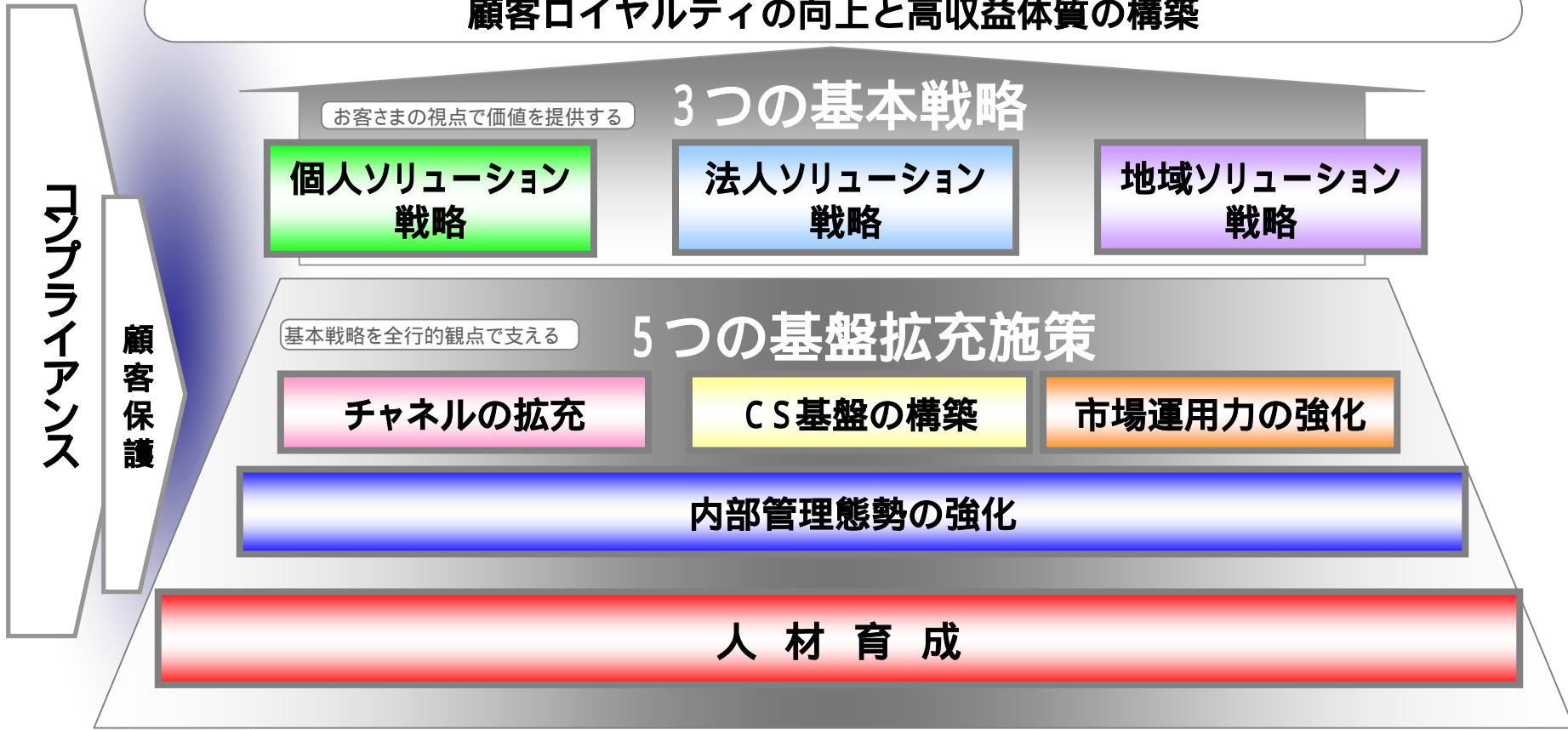
# 中期経営計画 Evolution2010

**あるべき姿**      **お客さまから支持され進化・発展し続ける金融サービス業**

定性目標

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. お客さまの視点で考えお客さまに支持される銀行 | 3. 高い健全性と収益性を兼ね備えた銀行  |
| 2. 産業振興と地域活性化を牽引する銀行      | 4. 高い経営力で進化・発展しつづける銀行 |

顧客ロイヤルティの向上と高収益体質の構築



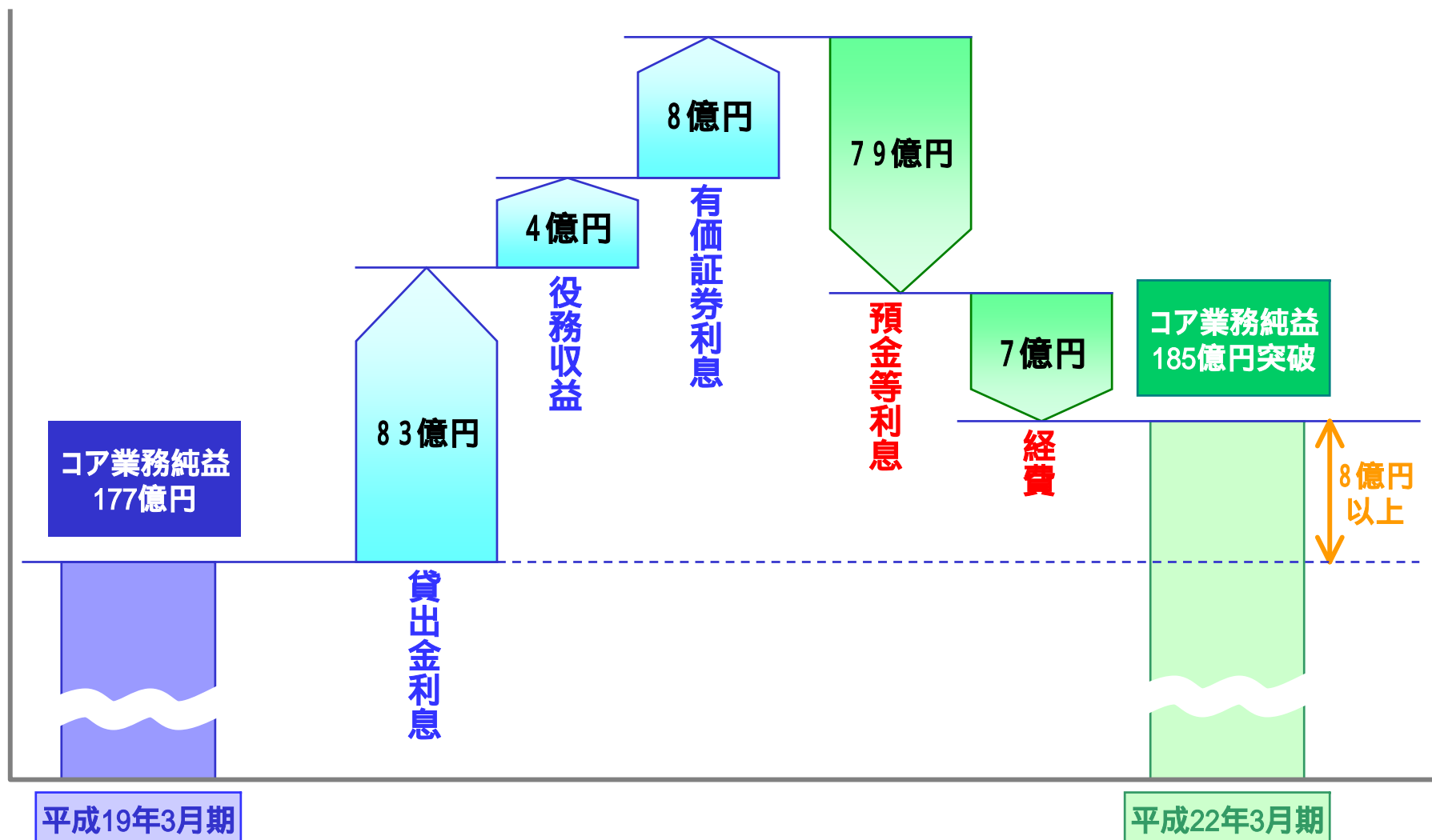
# Evolution2010 の定量目標

定量目標	H 1 9 / 3 期実績	H 2 2 / 3 期目標
コア業務純益	1 7 7 億円	1 8 5 億円突破
貸出金残高 (期中平残)	1 兆 4 , 4 3 3 億円	1 兆 5 , 8 0 0 億円
預金残高 (期中平残)	2 兆 3 , 0 3 3 億円	2 兆 3 , 8 0 0 億円
役務収益	7 8 億円	8 2 億円
修正OHR	5 9 . 3 8 %	5 0 % 台
R O A	0 . 7 0 %	0 . 7 % 以上
R O E	5 . 7 2 %	6 . 0 % 以上
自己資本比率 (国内基準)	1 1 . 9 9 %	1 0 . 5 % 以上
不良債権比率	5 . 1 6 %	4 % 台

修正OHR = 経費 ÷ コア業務粗利益



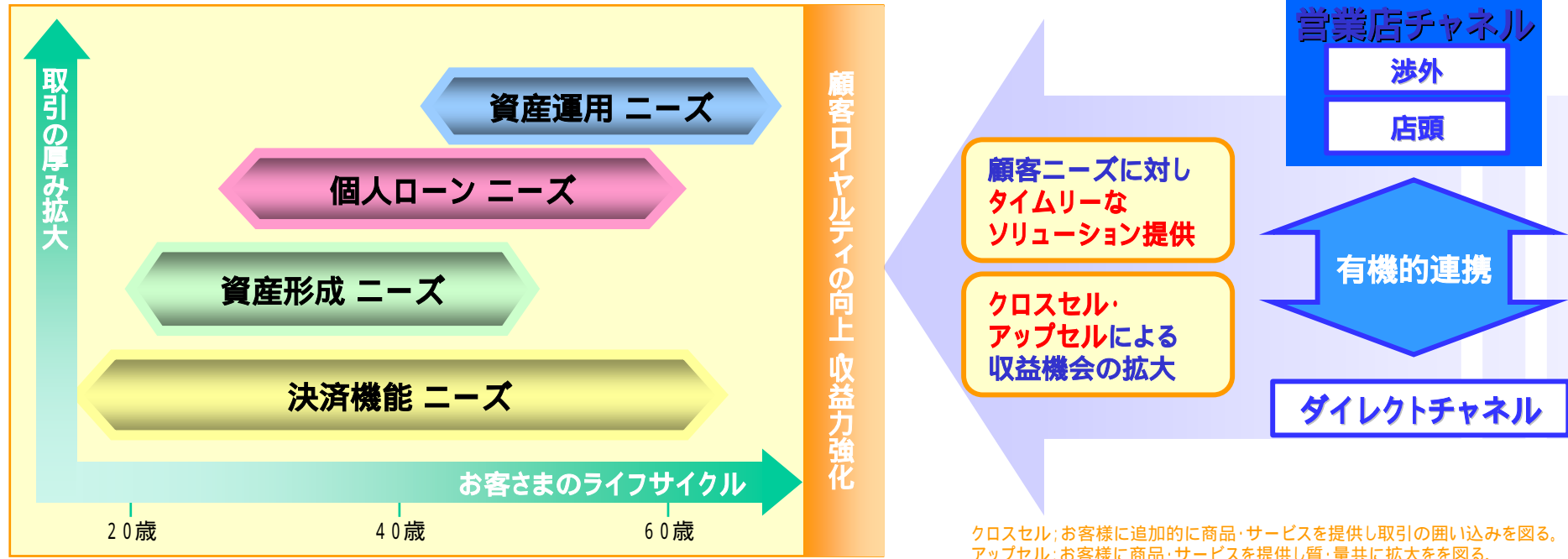
# コア業務純益目標達成のシナリオ



## 中計目標策定上の市場金利のシナリオ

短期金利 1・2年目は年0.25%、3年目は年0.10%の上昇を見込む。  
 長期金利 短期金利の上昇幅の半分を見込む。  
 (市場金利のフラット化の流れが継続することを想定)

# 個人ソリューション戦略の概要



### 中計における個人マーケットの基本戦略

1. 資産運用・資産形成ニーズへの対応
2. ライフイベント別資金ニーズへの対応
3. 利便性の高い機能サービスの提供

### 山梨県の団塊世代マーケット推計

今後3年間の定年退職予定者数  
約34,000人

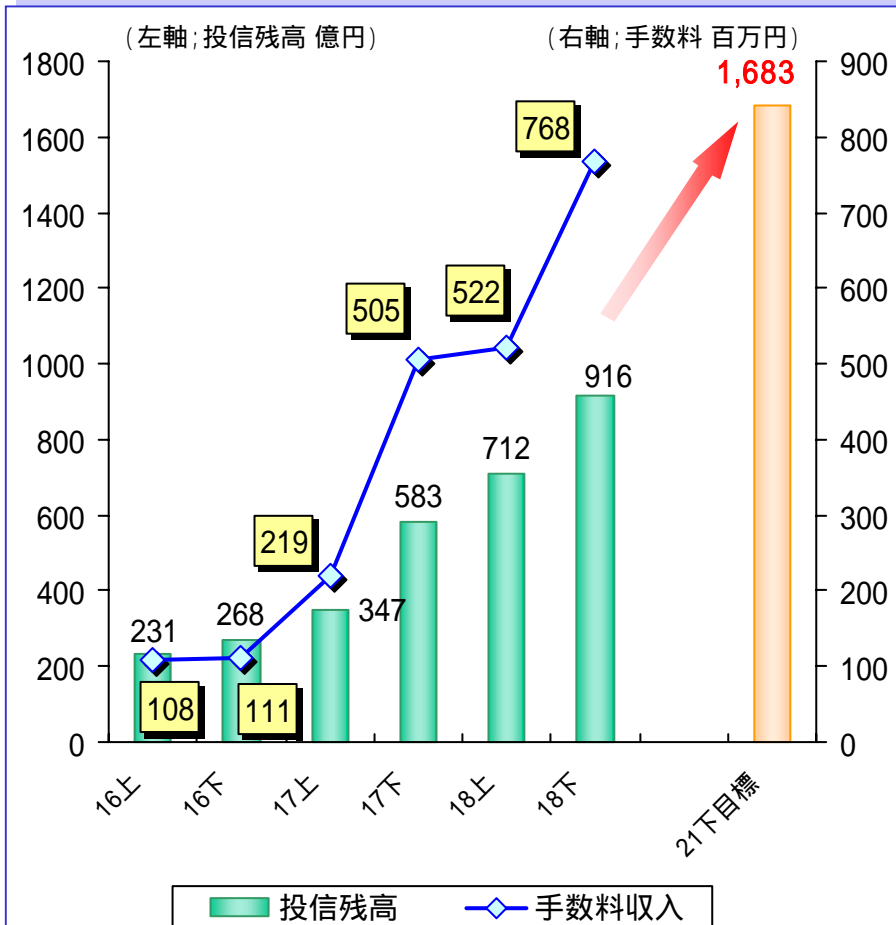
**退職金総額  
推定 2,300億円**  
(農林中金総合研究所試算)

# 投信・個人年金保険への取り組み

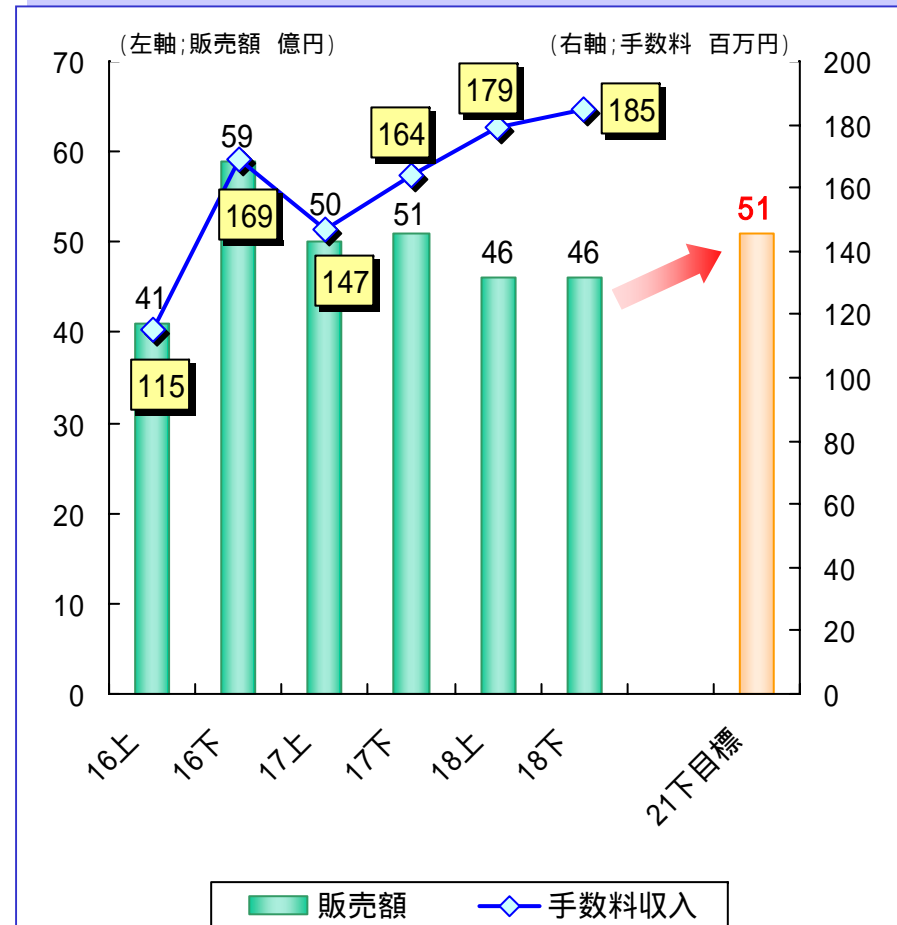
■ 投資信託・個人年金保険店頭販売体制の一層の強化  
 ■ ブロックFA体制の強化

■ 資産運用セミナーによる顧客層の拡大

## 投資信託の残高・手数料等推移



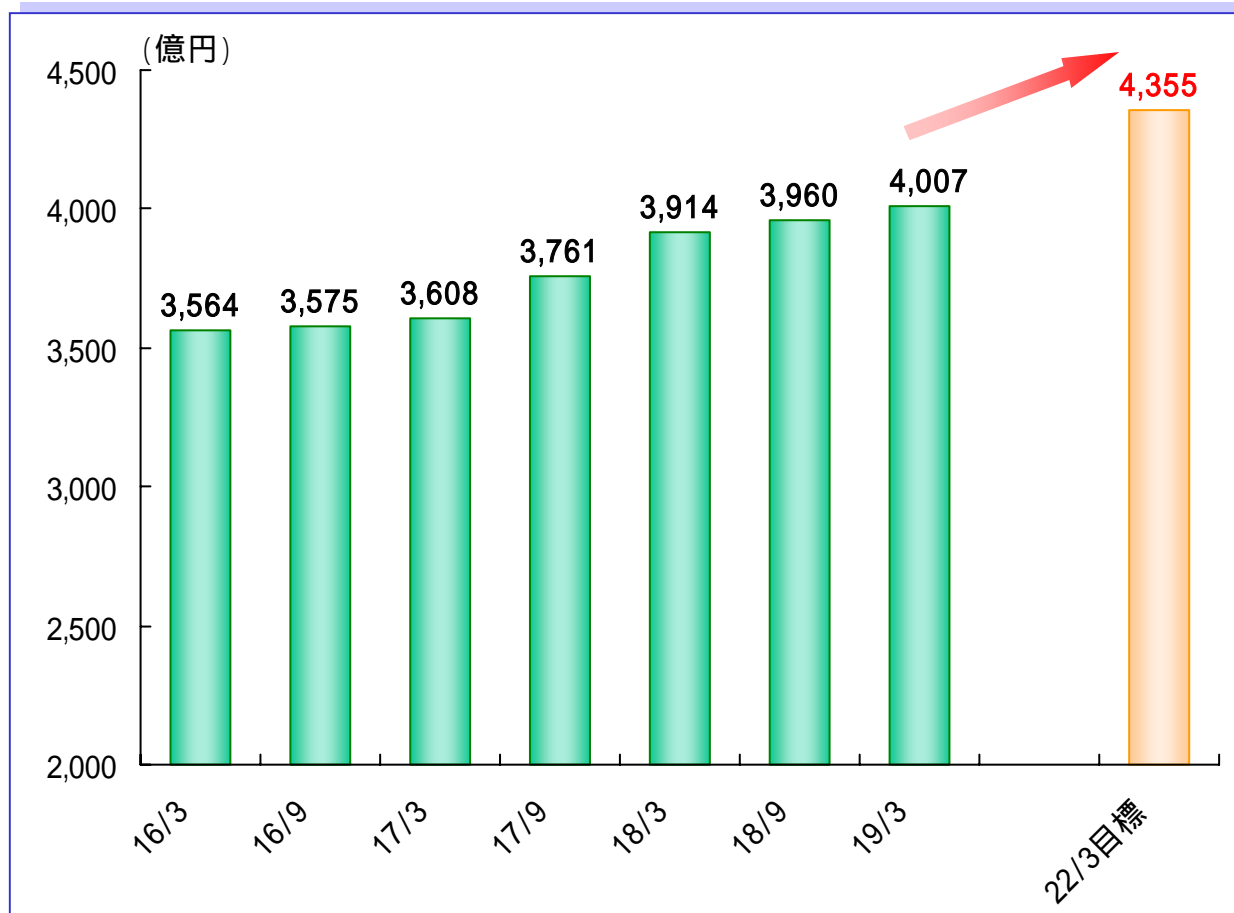
## 個人年金保険の販売額・手数料推移



# 個人向け貸出金への取り組み

- 個人ローン残高目標 4,355億円(平成22年3月末)
- 各チャネルの連携強化による顧客資金ニーズの掘り起こし

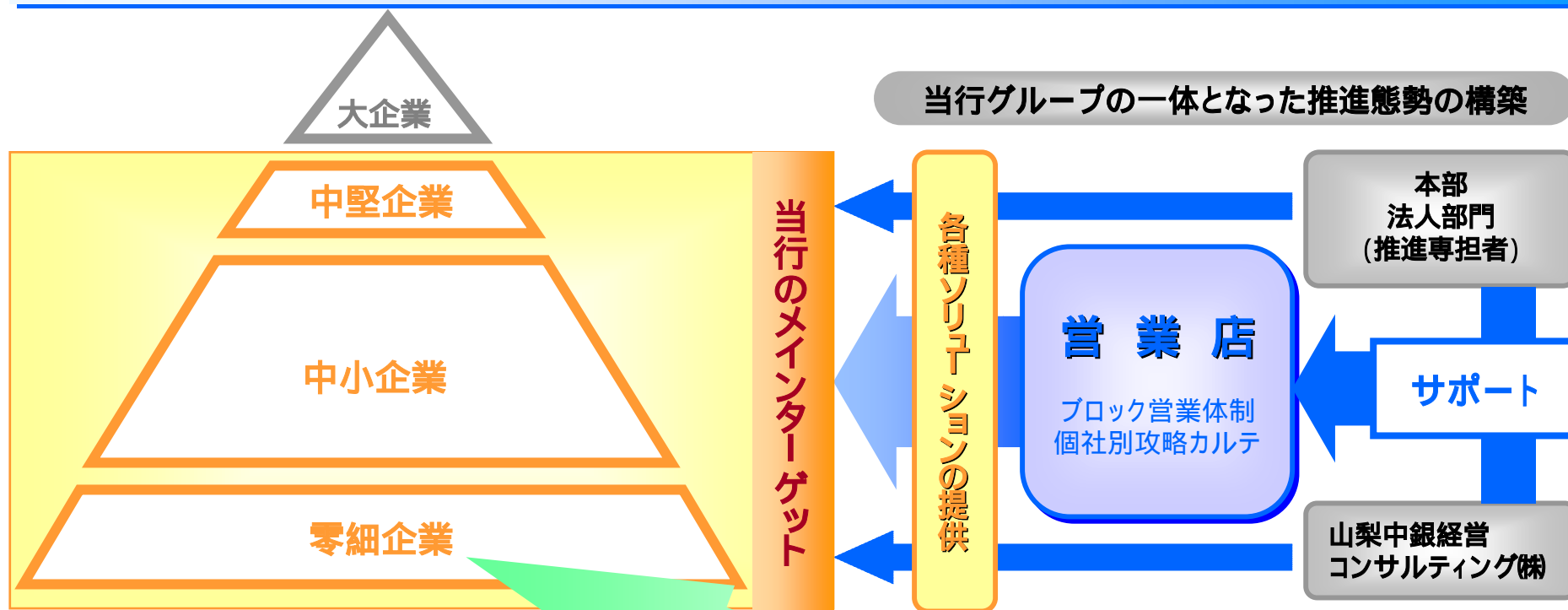
## 個人ローン残高推移



## ライフイベント別資金ニーズへの対応

1. 相談ニーズに適時かつ組織的に対応できる態勢整備
2. 顧客が迅速・簡便にローンを利用できる業務態勢の構築
3. より広い顧客層の資金ニーズへの対応強化
4. 住宅ローン顧客とのリレーションシップと生涯収益の向上
5. プロモーション力の強化

# 法人ソリューション戦略の概要



## 中計における法人マーケットの基本戦略

1. 企業規模別・業種別取引推進体制の強化
2. 情報戦略の強化およびソリューションツールの拡充
3. 法人取引推進インフラの整備・拡充

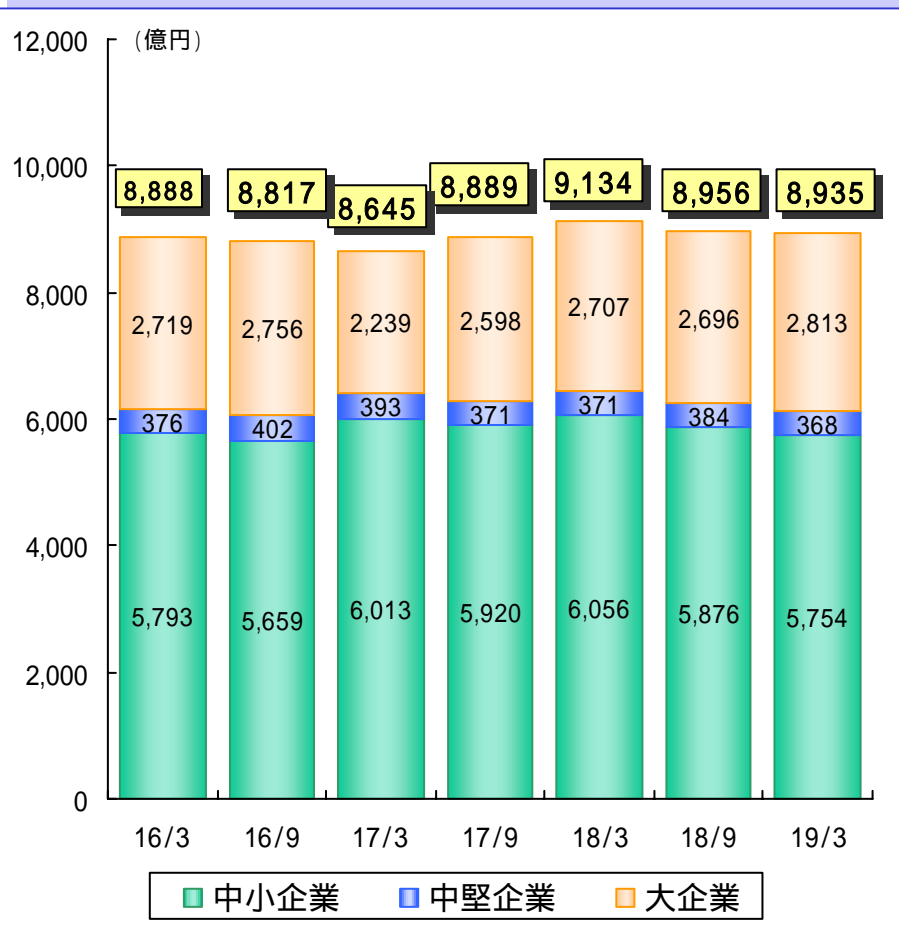
## 法人マス戦略の展開

1. ダイレクトチャネルによる取引基盤の拡大
2. 小規模事業者向けローン商品の開発
3. 保証協会・TKCとの関係強化

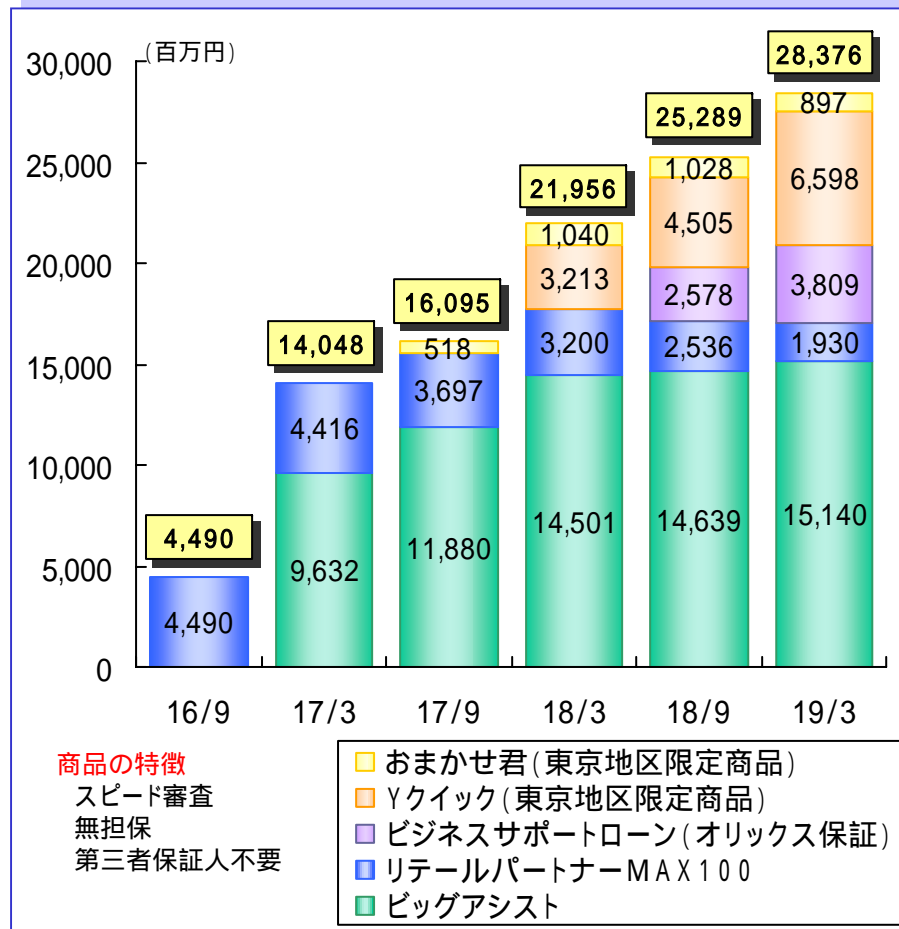
# 事業先向け貸出金への取り組み

■ 事業先向け貸出金残高目標 9,650億円(平成22年3月末)  
 ■ 「個社別攻略カルテ」の活用・事業先向け無担保ローンの推進強化

## 企業規模別残高推移



## 主な事業先向け無担保ローン残高推移



商品の特  
 速審査  
 無担保  
 第三者保証人不要

- おまかせ君(東京地区限定商品)
- Yクイック(東京地区限定商品)
- ビジネスサポートローン(オリックス保証)
- リテールパートナーMAX100
- ビッグアシスト

# 経営支援(創業・成長・再生)への取り組み

「リレバンの機能強化計画」 「地域密着型金融推進計画」

Evolution 2010 法人ソリューション戦略  
地域ソリューション戦略

中小事業者の  
お客さま

経営支援

事業資金の提供  
コンサルティング  
ビジネスマッチング  
情報提供など

当行グループ

当行

本部支援部署 営業店

グループ会社

山梨中銀経営コンサルティング等

連携

外部機関

技術アドバイザー

公共団体・山梨大学

研究・専門機関

経済団体・業界団体

政府系金融機関

外部コンサルタント

技術アドバイザーとの連携による企業の成長支援  
(平成13年4月～19年3月)

コンサルティング先数	326先
投融资先数/金額	133先/97億円
ビジネスマッチング件数	37件

平成13年4月に技術アドバイザー設置。  
販路拡大や技術・事業の将来性の評価などの  
コンサルティングを実施。

山梨中銀コーディネートサービスやビジネスマッチング  
による企業支援(平成18年4月～19年3月)

山梨中銀コーディネートサービスによる 企業支援(課題解決)対応件数	48件
商談会・イントラネット活用による ビジネスマッチング件数	180件

・山梨中銀コーディネートサービス(平成18年1月取扱開始)  
当行グループと外部機関とのネットワークやノウハウを活用  
したオーダーメイドの経営支援。  
・ビジネスマッチング  
商談会(やまなし食のマッチングフェア・東京ビジネスサミット)  
イントラネットによる取引先情報の活用など。

本部・営業店の連携による企業の再生支援  
(平成17年4月～19年3月)

経営改善支援の取組先数	338先
経営改善計画策定先数	116先
債務者区分のランクアップ先数	70先

平成13年6月に「再生支援チーム」を設置。  
平成14年4月に「企業支援グループ」として独立。  
総勢10名(うち4名が中小企業診断士)

# 地域ソリューション戦略の概要

地域の抱える諸問題の解決や地域産業の振興に、金融機関の立場から積極的に参画し、地域経済の活性化に貢献する。

当行収益の拡大

地域経済の活性化

地域企業の成長・業績拡大

顧客ロイヤルティの向上

地域ソリューション戦略

連携

法人ソリューション戦略

## 地域活性化への貢献

- 産学官連携強化
- 地場産業の育成強化
- 農業分野への取組み
- 医療・介護分野への取組み
- 観光分野への取組み

## 地域づくりへの参画

- 地域開発プロジェクトへの参画
- コミュニティビジネス(NPO法人等)のサポート

## 地域社会への貢献 (CSR)

- 環境問題への取組み
- 少子高齢化対策への取組み

## 地方自治体との連携強化

- 電子自治体対応へのサポート
- 業務効率化サポート
- 自治体ニーズと民間ニーズのマッチング
- 公共業務の民間委譲支援
- 地公体取引採算改善の向上



# 地域経済活性化への取り組み

## 産学官の連携強化、地域産業の育成強化

### 山梨大学との包括的業務連携

- ・客員社会連携コーディネータ委嘱制度の創設
- ・「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！」の発刊

### やまなし産学連携推進連絡会「リエゾン - Y」設立

- ・山梨大学、甲府商工会議所、当行の連携強化
- ・山梨大学インキュベーション施設への入居サポート

### 富士北麓・東部地域産業クラスター協議会への参画

- ・「富士北麓・東部地域産業クラスター促進ローン」の新設
- ・創造技術開発支援プロジェクトの推進

### 「山梨中銀経営支援コーディネートサービス」の取扱開始

- ・当行グループと外部機関との連携による経営支援

### 医療関連ものづくり交流会への参画

### 企業誘致情報交換連絡会の設立

### 「風林火山ビジネスネット(BtoB)」への参画

### 「山梨甲斐もの市場(BtoC)」への参画

### 「東京ビジネス・サミット」への合同出展

### 「ビジネスサポートガイド」の発刊

## 農業分野への取り組み

### 「山梨中銀農業サポートローン」の新設

### 「やまなし食のマッチングフェア」開催

### フーズインフォーマット「山梨食材市場」の開設

### 「やまなし食のビジネス情報連絡会」の設立

## 医療・介護(福祉含む)分野への取り組み

### 医療・介護分野に関する推進会議の開催

### 医療・介護事業者向けセミナー開催

## 観光分野への取り組み

### 観光資源の活用、開発コーディネート

- ・八ヶ岳南麓地域の活性化コーディネート
- ・地域資源活用プログラムの開発コーディネート

### 都内店舗への県内観光情報の発信ツールの設置

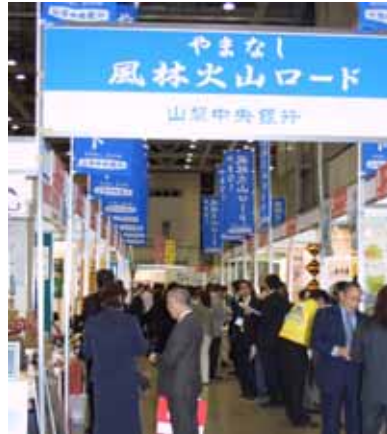
# 地域経済活性化への取り組み事例

## ビジネスマッチングフェア

「やまなし食のマッチングフェア」の開催  
(06.5.23) (07.6.5)



「東京ビジネスサミット」への合同出展  
(06.11.13～14) (07.10.22～23出展予定)



## 民間への技術移転

「山梨大学発“ビジネスチャンス”直行便！」の発行  
(06.6.28～)



## ビジネスマッチングサイト

仮想工業団地「風林火山ビジネスネット」  
の運営参画(06.9.7～)



「山梨食材市場」の開設(06.10.10～)



「山梨甲斐もの市場」の運営参画  
(07.3.23～)



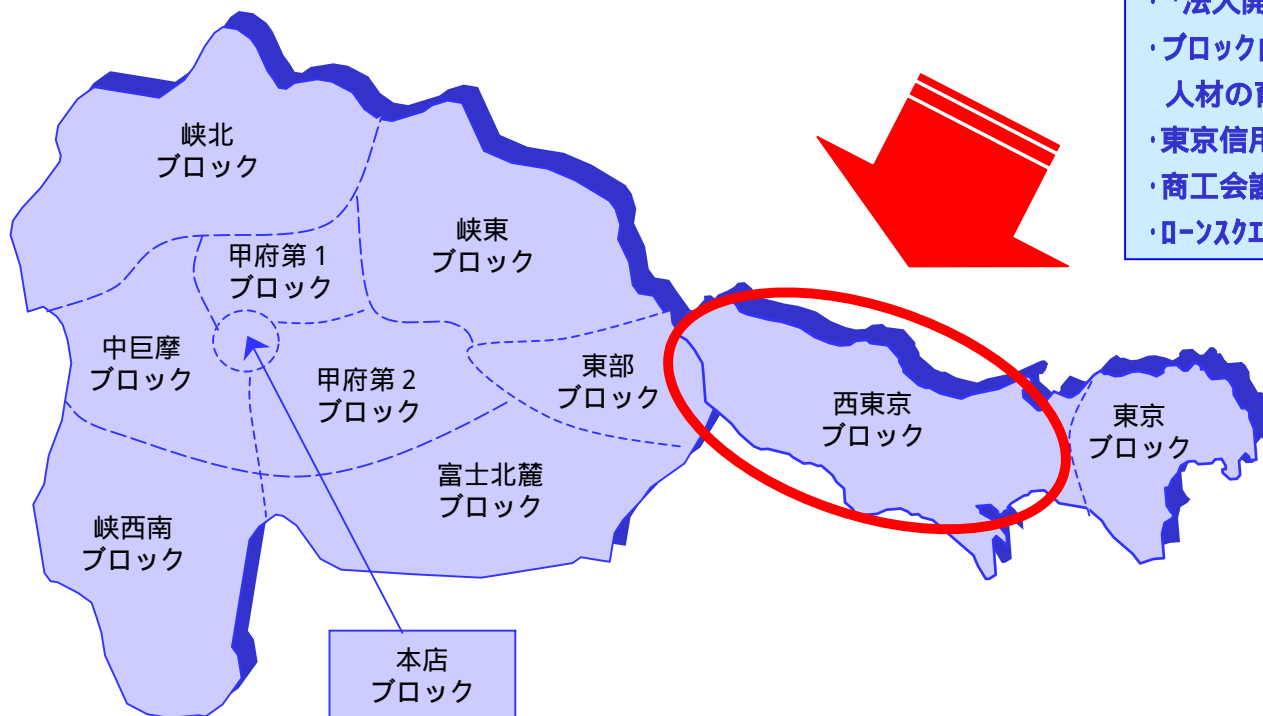
# 西東京ブロック戦略の概要

## ビジョン

21世紀における新たな収益基盤と位置づけ、  
県内を上回る収益性と効率性を実現する。

### 西東京ブロック

人口：393万人（平成17年3月住民基本台帳）  
世帯数：172万世帯（同上）  
事業所数：13万4千所（平成13年事業所統計）



**経営課題 1** 県内店舗の収益性を上回る店舗の構築  
(融資の量的拡大、取引採算向上、経営の合理化・効率化)

事業性融資残高目標(未残)	平成22年3月	1,322億円 (226億円増加)
個人ローン残高目標(未残)	同	901億円 (32億円増加)

**経営課題 2** 融資推進に傾注できる効率的な営業推進態勢の構築

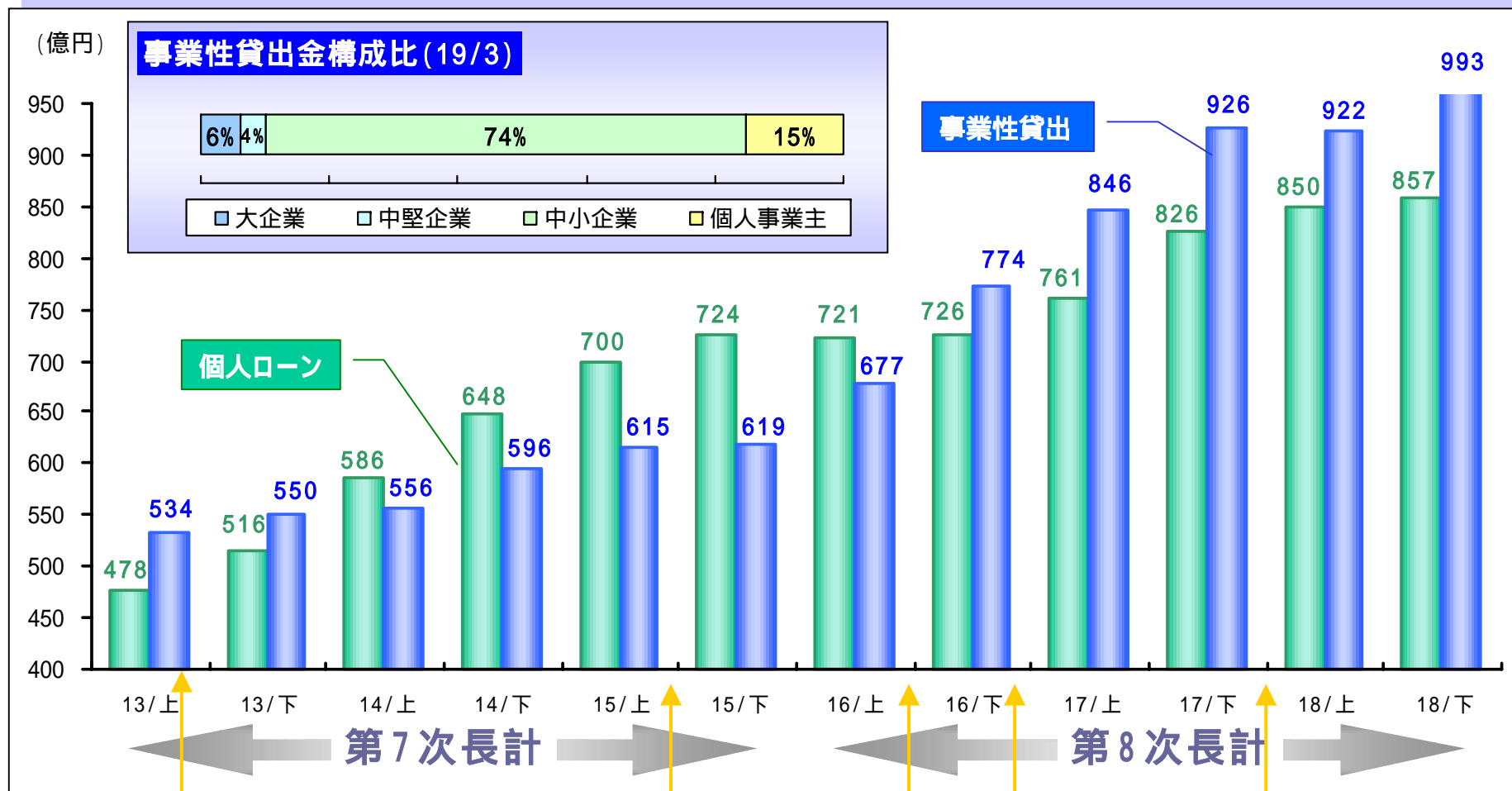
- ・「法人開拓特別チーム」の設置(ブロック内全店)
- ・ブロック内での徹底したOJT・研修による即戦力となる人材の育成
- ・東京信用保証協会との連携強化
- ・商工会議所・商工会・法人会と提携した融資商品の推進
- ・ローンスクエアと営業店との共同推進態勢の強化

**経営課題 3**  
経営資源を西東京ブロック  
へ傾斜配分

平成18年3月 町田支店開設  
平成19年6月 府中支店開設



# 西東京ブロックの業績推移 (貸出平残)



平成13年7月  
「西東京推進部」設置

平成15年9月 八王子支店に  
「法人開拓特別チーム」設置

平成18年3月  
町田支店 開設

平成13年9月  
「山梨中銀ローンスクエア八王子」  
オープン

平成16年8月 立川支店に  
「山梨中銀ローンスクエア立川」  
「法人開拓特別チーム」設置

平成16年11月  
村山支店を立川支店に統合

本日は、弊行の会社説明会にご参加いただきまして、まことにありがとうございました。  
本日の説明内容についてのご照会等は、下記までお願いいたします。

**【お問い合わせ窓口】**

**株式会社 山梨中央銀行**

**経営企画部 広報室**

**電話 055(233)2111**

E mail [kouho@yamanashibank.co.jp](mailto:kouho@yamanashibank.co.jp)

ホームページ <http://www.yamanashibank.co.jp/>

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。